

自彊前進

題字 西村直子

NO. 21 令和5年9月13日(水)

新潟大学附属新潟中学校 学校だより

文責 教頭

※ 自彊前進…自ら努め励み、前に進むこと
(校歌3番の文言から)

学校説明会に向けて

9月30日(土)に学校説明会が行われます。新潟市内や隣接市町村の小学校6年生のうち、当校への進学を希望している児童とその保護者を対象に行うもので、昨年度より、在校生からボランティアを募り、お手伝いしてもらっています。今年度も希望を募ったところ、実に65人の生徒が申し出てくれました。当日は、各学級に分かれて、模擬授業進行の手伝いや学校の教育活動の説明を行いました。先輩として自分の言葉で語る附中生の姿に多くの小学生が憧れのまなざしで見ました。

当日は、保護者にも当校の教育活動について説明します。昨年は、当時3年1組の小林桃子さんが生徒の立場で説明してくれました。昨年度の学校だよりでも紹介しましたが、次は彼女の挨拶の冒頭部分です。

私は、この附属新潟中学校が大好きです。私たちは附属新潟中学校に愛着を込めて「附中」と呼んでいます。私は、附中の大きな魅力は「自治」だと考えています。附中では「生き方を求めて学ぶ生徒」という教育目標を掲げ、生徒一人一人が主体となって活動することを何よりも大切にしています。その姿を表す言葉が「自治」です。自治とは、生徒が主体となってものごとを作り上げることです。その時に私たちが大切にしていることは、「自由には責任が伴う」ということです。「自治だから」「自由だから」といって自分達の活動で何をしてもいいというわけではなく、自分たちでよりよいものを創造し、それが周りにとってもよりよいものなのか考え、判断して行動する。その行動に私たちは責任をもたなければいけないのです。また、自分たちだけではうまく進めることはできません。先生方、保護者の方、私たちを支えてくださるたくさんの方から助言や協力をいただくことで、じっくり考え、判断して行動できるようにしています。

後日実際に当校に入学した保護者から聞いたのですが、学校説明会での小林さんの挨拶がとても心に響いたそうです。今年度も多くの小学生、保護者が参加します。参加者に当校の魅力を伝えるとともに、私たち自身が附属中で大切にしていることを共有できる機会となることを願っています。

昨年度の準備・清掃、誘導、学校説明、模擬授業等の様子

